



## 新型コロナウイルス、町にも再拡大

今年になってオミクロン株が急拡大し、ついに町にも陽性者が出ました。保育園や小学校の休園、休校があいつぎ、住民の不安がつつと広がっています。しかし、町はこれまで陽性者が出るたびに防災無線で住民に状況を報告してきたのに一切なくなり、ホームページで知らせるだけになっています。

住民からは、放送しないことで感染状況が分からず不安になるという声が、再三多くの議員に寄せられました。議会としても看過できないと考え、1月31日に副議長、各委員長とともに町長室に出向いて要望しました。また、人数を伏せることには同意しました。

**病院、療養者の状況は** 陽性者が出たことで、濃厚接触者の検査のために人手と時間がかかり、病院はパニック状態になりました。2月4日現在、入院者は2人、都内の宿泊施設での療養者が1人、自宅療養者が36人となっています。自宅療養者には、保健所からパルスオキシメーターと体温計と食料が届けられ、いずれも軽症のようです。また今後、軽症の陽性者が多数出た場合の対策として、宿泊施設についても状況しだいで検討したいとのことでした。

**ワクチン接種は** 3回目のワクチン接種が急がれていますが、医療や介護の従事者についてはすでに接種が済んでいます。現在は高齢者から順に通知、予約、接種と進められています。町の担当者によると、3月末までに20歳以上のすべての住民の接種を終える予定で準備を進めているとのことでした。



## 八丈町給食センター運営審議会 12月16日

年に1度の審議会の主な議題は、①令和4年度の給食費と、②センター内改修についてでした。

① 給食費については、町は給食委託業者への経費と食材費の10%（ここ数年は10~15%）を負担していますが、食材費の高騰などにより来年度から値上げしたいとの報告がありました。これに対して審議委員から、給食費を無料にしている自治体もある、値上げはしないでほしいとの声がありました。担当者は町の政治的判断によるので、ここでは決められないと答えました。

② センターは築20年以上が経過し、施設や設備の老朽化が目立っています。今年度も改修を実施し、来年度も必要になると説明がありました。

町の給食については、地元の食材を多く取り入れるようにと議会から要望がでていますが、安定的な供給量と価格に課題があり難しい面もあります。八丈産の牛乳を取り入れてほしいとの要望に対して、昨年3月11日の震災の日に防災教育の観点からジャージー牛乳が提供されました。今年も提供されるとのことで、今後も町の地産地消策を後押しするの必要を感じています。





## 青鳥（せいちょう）特別支援学校八丈分教室、もうすぐ1年

**八丈分教室開く** これまで、学習を進める上で知的な困難をかかえる生徒は、八丈町の中学校を卒業したあと、都内の寮で生活しながら近くの特別支援学校高等部に通っていました。一方保護者は2週間に一度、金曜日に上京して生徒を迎え、日曜日には帰寮させなくてはなりません。経済的・時間的負担は想像以上に重かったと思います。知的障がいがある生徒の保護者は、こうした負担を軽減するため、島に支援学校が作れないかと模索し、町や都に要望してきました。そうした声が届いて、ついに2021年（令和3）4月、八丈町に青鳥の八丈分教室が開設されました。

**生徒3人を教職員4人でサポート** 大賀郷中学校に在籍していた生徒3人が入学しました。教室は八高の格技棟2階のミーティングルーム。分教室副校長、担任教諭2人、経営企画室の職員1人の計4人で生徒を支えています。

**豊富な授業内容** 7月にはプール体験、全日制の1年生と合同でレクリエーション、世田谷本校とのオンラインでの交流、大中生徒の教室訪問など、様々な体験が次々に行われています。八高祭では展示参加で生徒自ら作品を企画、制作しました（写真上）。



**給食は町のセンターで** 午前中は学科、午後は作業という授業ですが、昼食は1階のレストランでいただきます。給食は都の委託によって町の給食センターで7人分が作られ、高校まで届けられています。

**10月22日（金）授業を参観しました** カリキュラムは本校と同じように、午前が学科、午後が作業というもので、私は午後の作業を見学しました。

生徒2人（1人は休み）に先生が2人ついて、清掃作業を行っていました。同じ作業を何回か繰り返すのですが、



互いに一連の作業の評価をし合っていてうれしそうでした。それを優しくじっと見守る先生の姿も印象的でした。保護者の方からは、毎日楽しそうに登校する姿を見るのがうれしいとの声もあり、これ

からも学校生活を楽しんでもらいたいと思いました。

**八丈支庁で企画展示** 2月はじめに、八丈支庁の1階の展示ホールで青鳥特別支援学校分教室にかよう生徒の作品が展示されていました。開校してから1年近くになりますが、地域住民に十分知られていないようです。

こうした展示のほかに学校見学会も行っていますが、参加者はまだ少数にとどまっています。時間をかけて地域に溶け込み、やがては就労へつなげていきたいと思っています。

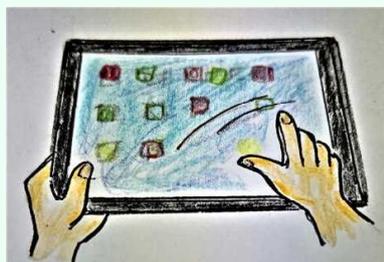


## 行政視察はテレビ会議で

今年度の行政視察は埼玉県飯能市の「市議会のタブレット端末導入について」と、東京都町田市の「グリーンスローモビリティ（低速電動車）の導入と実情について」でしたが、いずれもコロナ感染拡大で中止になりました。

中止の可能性を考慮してリモートによる視察も予定していましたが、飯能市議会の全面的な協力により、1月12日の午後、テレビ会議が実現しました。

**タブレットと紙の併用から** 飯能市議会はまず議会改革推進会議を設置し、ペーパーレス化やメールによる情報交換、政務調査などについて議論を重ね、その一環としてタブレットを導入しましたが、紙媒体との併用もしています。全員参加が基本ですが、参加しなかった場合でも“文句は言わない”こととして、議会運営委員会へ進めていったそうです。議場には大型モニターを設置し、一般質問や執行部の説明の補助資料などに活用し、傍聴者にもわかりやすい議会を目指しているそうです（議会の模様はインターネットでも配信しています）。



**議員の反応は** 担当者の説明の後、八丈の議員から多くの質問があり、八丈町議会でも導入する機運が高まった感じがしました。会議のあと事務局長からタブレットの議会への導入には、東京都の補助金があるとの報告があり、ますます現実味が増してきました。議会一丸となって進めていきたいと思えます。

## 全員協議会 12月7日 議会終了後

町の報告事項は、

- 1) **地熱発電の進捗について** 11月に予定されていた噴気試験は、今年の5月くらいまで延期になるそうです。掘削はすでに終了しているものの、やぐらなどの周辺の解体工事に数ヵ月かかることが理由とのことでした。
- 2) **長寿命化計画の見直しについて** かねてより予定されていた富士中の改修工事は、「改修」となるとプレハブ校舎を建てるなどで時間も経費もかかることが予想され、敷地（グラウンド）もあるので「新築」の方が望ましいとの考えに移行しつつあるとのことでした。私もそのほうがいいと発言しました。
- 3) **乗合バス路線の変更について** 安全性を確保した上で、可能な限り貸し切り需要に対応し、路線の効率化を図るとして、路線の変更を行うとした。
  - ・利用の少ない“末吉～洞輪沢”と“自由が丘～中之郷温泉”の2路線を廃止すること
  - ・夏季限定の“底土回り路線”を通年運行とし、“老人ホーム～大中前”区間を4便増便すること
  - ・利用者の少ない“日曜日を運休”とすること

などが報告されました。路線変更については、以前議会で問題となった経緯があり、これが最良の変更案なのか、今後議論が必要となると思えます。



## 議員提案の意見書、賛成多数で可決される

12月議会で東京都に提出する「災害対策を重視した港湾及び道路整備に関する意見書」が賛成多数で可決されました。提案理由の概要は

「八丈島は、豊かな自然環境に恵まれている反面、たびたび台風や地震などの自然災害に見舞われている。町民の安全な避難経路を確保するためにも、下記事項の実現を要望する。」というもので、東京都に対する具体的な要望事項は次の2点でした。



1. 底土港の接岸率向上のため大型船の接岸も可能な防波堤を整備すること
2. 東畑交差点から護神交差点までの道路を拡幅、無電柱化し、避難経路を確保すること



意見書は可決されましたが、町から、2.の要望事項は、東京都の守備範囲ではなく町独自の事業案件であり、市町村土木補助で進めるべきものとの指摘を受けました。提案者は三宅正彦都議会議員にも相談した上で提案した経緯もあり、また意見書に反対した議員も数名いたことから、この点について直接説明したいという三宅都議の意向で来島が実現しました。

### 三宅都議が説明に来島 12月22日

議員12人が参加した中で、三宅都議はこれまでの経緯を説明しました。

1.については長期的視点にたった要望を評価した上で、2.については1.と連動している事項なので、無電柱化を前面に出して要望する方法もあるとの提案がありました。ただ、議員の意向がまとまっている必要があるので、まず議会で合意をとりつけるよう助言をいただきました。

**意見交換会** この機会に議員の意見も聞きましょうと意見交換が行われ、日ごろの疑問や要望を届けることができました。都議も今後年に1~2回は交流の機会を持ちたいと発言し、この意見書がきっかけだったとはいえ、自由な意見交換の場が持てたことはよかったですと思います。

12月議会ではこのほか、2件の意見書が提案され、「離島振興法の改正・延長を求める意見書」は全会一致で可決。「ウィグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書」は賛成少数で否決されました。

## 編集後記

コロナ感染拡大のため、2月19日に予定していた住民懇談会は延期にしました。昨年につき2度の延期です。会場の予約や議員の役割分担など、準備を進めていて楽しみにしていたのに残念です。

年度内に実現できるよう考えてはいますが、これもウイルス次第なのでご了解ください。

今まで以上に感染に気をつけて収束を待ちましょう。

